



図書だより 12月号

BOOK OF THE YEAR

No Image



「マスカレード・ゲーム」 東野圭吾/集英社

— 解決の糸口すらつかめない3つの殺人事件 —

共通点はその殺害方法と、被害者は過去に“人を死なせた者”であること。捜査が進む中、その被害者たちを憎む“ある事件”の遺族たちが、ホテル・コルテシア東京に宿泊することが判明。警部となった新田は、再び潜入捜査を開始する——。



「同志少女を敵を撃て」
逢坂冬馬/早川書房



「汝、星のごとく」
凧良ゆう/講談社



「ペッパーズ・ゴースト」
伊坂幸太郎/朝日新聞出版



「赤と青とエスキース」
青山美智子/PHP 研究所



「おいしいごはんが食べられますように」
高瀬隼子/講談社



「方舟」
夕木春央/講談社



「小説 すずめの戸締まり」
新海誠/KADOKAWA



「#真相をお話します」
結城真一郎/新潮社



「N」
道尾秀介/集英社

走り革命理論

和田賢一/KADOKAWA

YouTube【走りの学校】校長・和田賢一が伝授!

ジャマイカでウサイン・ボルト氏と共にトレーニングした経験に基づき構築した『走り革命理論』。すべてのスポーツに生きる走りの極意!





「幻告」 五十嵐律人/講談社

裁判所書記官として働く宇久井傑。ある日、法廷で意識を失って目覚めると、そこは5年前——父親が有罪判決を受けた裁判のさなかだった。冤罪の可能性に気がついた傑は、タイムリープを繰り返しながら真相を探り始めるが、過去に影響を及ぼした分だけ、五年後の「今」が変容してしまい——。

時空をこえて
運命を変える

タイムリープ

「右から二番目の夏」 梅野小吹/KADOKAWA

幼い頃秘密基地で幼馴染の1人だった初恋の相手を事故で失ってしまった神田桐は、それから8年心を閉ざしてしまう。そこへ亡くなった初恋の人の“妹”を名乗る雪音が現れ「姉は秘密基地にいた誰かに殺された」と告げられる。彼女から衝撃の事実と、さらにタイムリープの方法を聞いた桐は、過去を変えるため、いま再び動き始める。



ALT 来館



世界のみえ方はひとつじゃない



文字に色がついて見える共感覚の話

「1は赤い。そして世界は緑と青でできている。」
望月菜南子/飛鳥新社



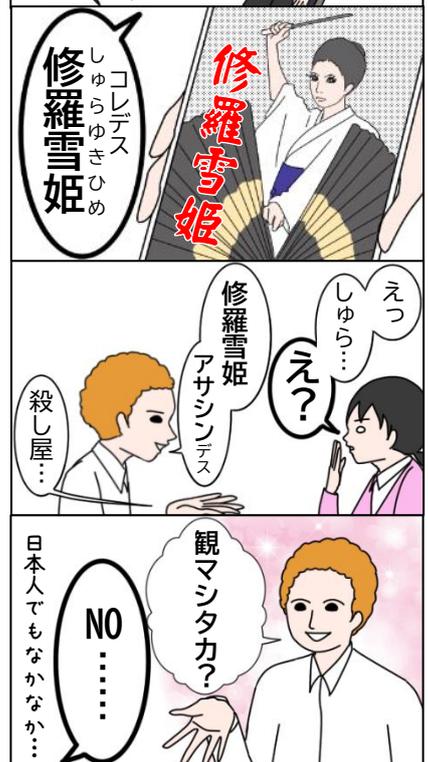
16歳の現役高校生が伝えたい感覚過敏のこと

「感覚過敏の僕が感じる世界」
望月菜南子/飛鳥新社

「怪盗フラノールの巡回」

西尾維新/講談社

亡き父親の正体は大怪盗だった!? 二代目怪盗フラノールを襲名した「ぼく」は持ち主にお宝を戻す“返却活動”を開始する。しかしベテラン刑事や新世代の探偵が立ちはだかり——。二代目怪盗フラノールは、数多の謎を解き明かし、任務を完遂できるのか?!



今月のダ・ヴィンチ

- ① BOOK OF THE YEAR 2022
- ② 今年の“顔”インタビュー
大泉洋, 加藤シゲアキ, 町田啓太, 市川染五郎, 操上和美
- ③ 「ブラックナイトパレード」対談 中村光×福田雄一



他にも盛りだくさん!

外国人の方が昔の日本映画に詳しいことって多いですね〜。